

協働で元気な
まちづくり



協働 マッチング システムガイド

Collaboration Matching System Guide



協働とは何？から始まり
事業所等とのマッチングに
つなげるまで

目次

第1章 協働について知ろう

- 1 協働って何?4
- 2 どうして協働が必要な?5
- 3 協働するとどんな効果があるの?6

第2章 協働のマッチングを進めよう

- 1 協働マッチングシステムって何?8
- 2 協働マッチングシステムの支援とは? 9
- 3 協働マッチングシステムを活用しよう10
- 4 協働マッチングシステム活用あれこれ16
- 5 協働マッチングシステムの試行事例 21

はじめに

近年、人口減少・少子高齢化の進行、情報通信技術の進展、SDGsの推進など私たちを取り巻く社会情勢が大きく変化してきていることに伴い、個人の価値観やライフスタイルも変化してきています。

また、かつてない大雨などによる災害や感染症リスクの高まりなど、地域における状況は、ますます複雑化・多様化し、これまでのやり方では解決が困難な課題に直面しています。

そのため、こうした課題を行政だけが主体となって解決することは困難になってきており、これからのまちづくりには、行政のみではなく、市民、連区・町内会、ボランティア・市民活動団体、学校等、事業所といった多様な主体による協働の必要性が高まっています。

そうした状況において、これまで関わりのなかった多様な主体同士によるSDGsの達成に向けた新たな協働による取組が注目されており、地域の課題解決への取組に対し行動に移せなかった団体にとっては、協働を始める良いタイミングになっているといえます。

そこで、市では、これまで以上に協働のまちづくりの推進を図る必要があると考え、「協働に取り組みたいが、何から始めたらいいのかわからない」「一緒に課題解決に取り組む相手の探し方がわからない」といった課題を抱える多様な主体をサポートするため、『協働マッチングシステム』を構築しました。

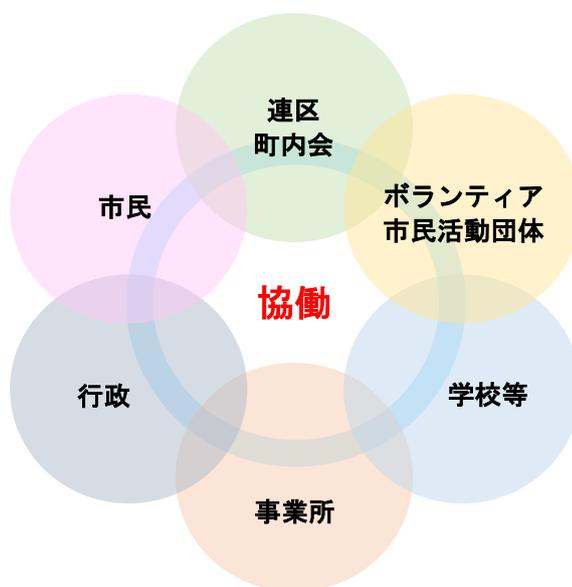
このガイドは、『協働マッチングシステム』を多くの団体に御活用いただくため、協働に対する考え方や活用方法についてまとめたものです。

このガイドを読まれた方が協働について理解をしていただき、地域の課題解決に向けて動き出すきっかけづくりの一助となれば幸いです。

第1章 協働について知ろう

1 協働って何？

「協働」とは、多様な主体が、共通の目的を達成するために、それぞれの強みを活かして、信頼関係のもと相互の立場や特性を意識・尊重しながら協力して取り組むことです。何かを生みだそうとすると、同じ分野で活動する人々で集まって出した成果よりも、多様な人々が集まって出した成果のほうが高いパフォーマンスが得られ、お互いの得意分野やネットワークを活かすことにより、地域の課題解決に大きな効果を発揮できるメリットがあります。



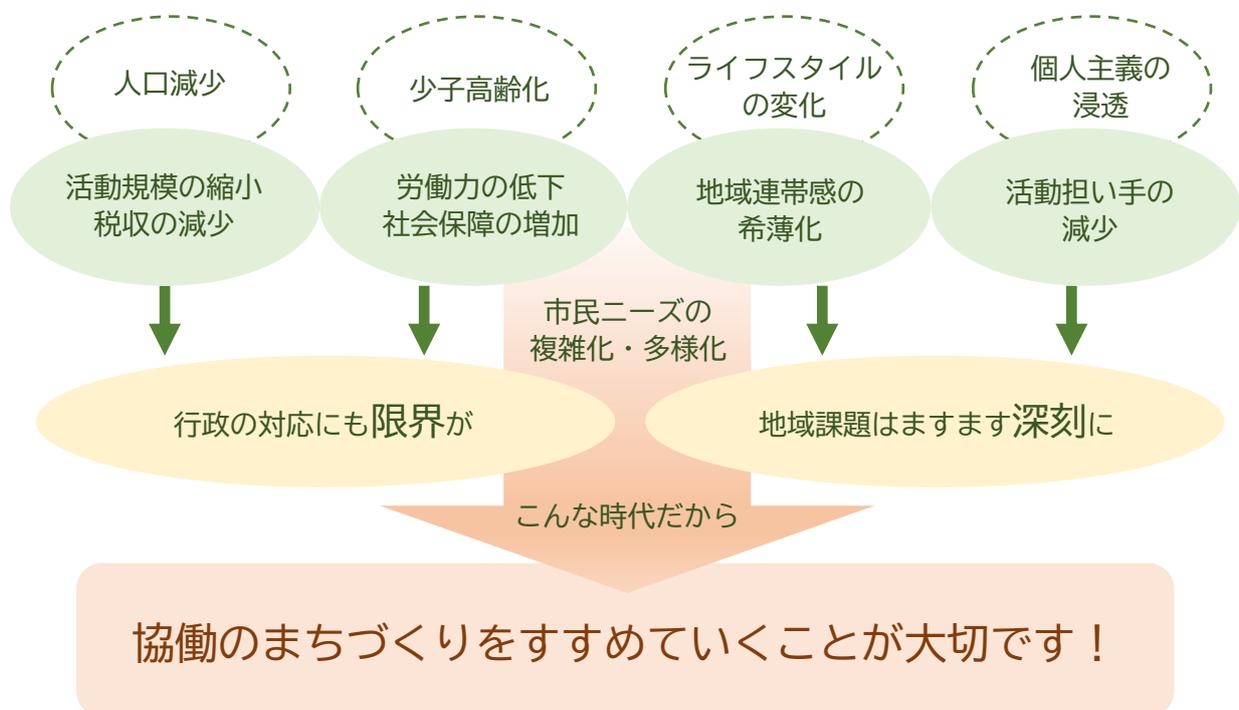
協働の領域（範囲） ～市民と行政の関わり方～



2 どうして協働が必要なの？

昨今、市民のライフスタイルや価値観の多様化が進み、人々のニーズも複雑化し、行政による公平な公共サービスだけでは対応できない場面が増えてきました。一方で、地域の連帯感の希薄化や核家族化など、地域や家庭のあり方が変化したため地域や家庭だけでは課題の解決ができなくなり、公共サービスとして支えることも必要になってきています。しかし、人口減少、少子高齢社会を迎え、厳しい財政状況の中、さまざまな社会ニーズに対して、全てを行政サービスで対応することには限界があります。

こうした中、市民、連区・町内会、ボランティア・市民活動団体、学校等、事業所といった多様な主体の市政への参加が求められます。行政と力を合わせて課題を解決し、地域の特色を活かした安全で安心な住みよいまちづくりを推進するために、これらの多様な主体と行政との協働のまちづくりが必要です。



3 協働するとどんな効果があるの？

協働することにより様々な効果が期待できます。主な効果を4つ紹介します。

相乗効果

単独では解決が困難な場合でも、多様な主体がそれぞれの特性や特長を活かすことで、高い効果(相乗効果)を発揮することが期待できます。また、協働の主体がお互いの特性を知り、自らの組織や活動を見直す機会にもなります。

活動の活性化

協働することにより、各主体にとって、自らの目的をより効果的に実現できる機会となります。また、新たなネットワークが築けることや活動の場が広がる等、活動を活性化できるメリットがあります。

新しい価値や手法の創出

協働することにより、新しい価値やより良いものを生み出すことが期待できます。また、複数の取組を組み合わせる等、新しい手法を導入することも期待できます。

多様化する社会課題への対応

多様で先駆的なサービスを柔軟かつ迅速に提供することができる NPO の特性や、専門的な技術を有する事業所や大学の特性を活かすことで、多様化する社会課題へ対応できることが期待できます。



連区・町内会にとっては・・・

連区・町内会活動者の自治意識の醸成が図られることにより、地域の実情に応じた新たな地域コミュニティの構築が期待されます。

ボランティア・市民活動団体にとっては・・・

ボランティア団体や市民活動団体が身近な地域課題の解決に参画し、協働に取り組むことで、取り組みの幅やネットワークが広がるとともに、団体活動の活性化や社会的信頼の向上につながります。

学校等にとっては・・・

地域との連携を深めることで、児童・生徒等の安心・安全が図られるほか、地域社会との新たな関係性が築かれ、学校活動の幅が広がります。

事業所にとっては・・・

社会貢献活動に取り組むことで、地域社会の一員として信頼を得ることや社会的価値の向上につながります。また、従業員においても社会貢献への意識向上により、ボランティア活動の広がりや能力の向上、他の組織とのネットワークの構築が期待されます。

行政にとっては・・・

様々な分野の組織との協働により、その特性や資源を有効に活用することで市民ニーズをよりの確に把握し、それらに合わせたきめ細やかな公共サービスを提供することができます。また、行政とは違う視点に触れることにより、職員の意識改革と資質の向上、行政改革の推進にもつながります。

市民にとっては・・・

市民一人ひとりが良いまちづくりを目指して自主的・自発的に地域の課題解決に関わることで、自治意識が醸成されるとともに地域への愛着が深まり、市民のニーズに合った迅速かつきめ細かい多様なサービスの提供が期待されます。

第2章 協働のマッチングを進めよう

1 協働マッチングシステムって何？

これまで、市内の団体が協働に取り組む際に、「協働の取り組み方が分からない」「協働相手がみつけれない」「活動に必要な資金が十分ではない」の主に3つの事柄が課題となってきました。この課題を解決し、協働マッチングに取り組みやすくする仕組みとして構築したのが「協働マッチングシステム」です。「協働マッチングシステム」を活用することで、協働に取り組みたい団体がスムーズに他の団体とマッチングをすることができ、効果的に協働事業を実施することができます。



協働することは目的ではなく手段です！

協働すること自体は目的ではなく、双方の目指すところや、やりたいことが合致した場合に、その共通の目的を実現するための手段にすぎません。

目的が一致しない、実施方法に合意できないなどの場合には、無理に協働する必要はありません。協働することが目的にならないよう、協働が適する事業かどうかを見極めることが大切です。

2 協働マッチングシステムの支援とは？

では、「協働マッチングシステム」には、協働のマッチングをするためにどんな支援があるのでしょうか。このシステムでは、協働マッチングを効果的に実施するための3つの支援事業として、協働の手法を習得するための「①協働コーディネート支援事業」、協働相手を紹介するための「②市民協働のまちづくり応援事業」、協働事業における補助金が活用できる「③市民協働事業応援補助金」を設けています。

協働マッチングシステム マッチングのための3つの支援事業を紹介

マッチングの方法が学べる

Step 1

手法の習得

■ 協働コーディネート支援事業 ■

専門家やコーディネーターから協働の手法や事業所等とのマッチングの手法を学ぶことができます。

サービス提供等が受けられる

Step 2

紹介ツールの活用

■ 市民協働のまちづくり応援事業 ■

団体の活動を支援する事業所からサービス、活動場所や技術等の提供を受けることができます。

財政的支援が受けられる

Step 3

補助金の活用

■ 市民協働事業応援補助金 ■

協働で実施する事業に係る経費の一部について、補助金の交付を受けることができます。

3 協働マッチングシステムを活用しよう

Step 1

事業所等とのマッチングの手法を習得しよう

■ 協働コーディネート支援事業

連区・町内会や市民活動団体が事業所等と協働して事業を行おうとする場合に、協働に関する専門的な知識や技術を有する**アドバイザー**や**協働のまちづくりコーディネーター**が、団体と一緒に課題解決のための検討に参加し、協働の進め方をアドバイスしたり、事業所等とのマッチングを支援します。

参加するメリットあれこれ・・・

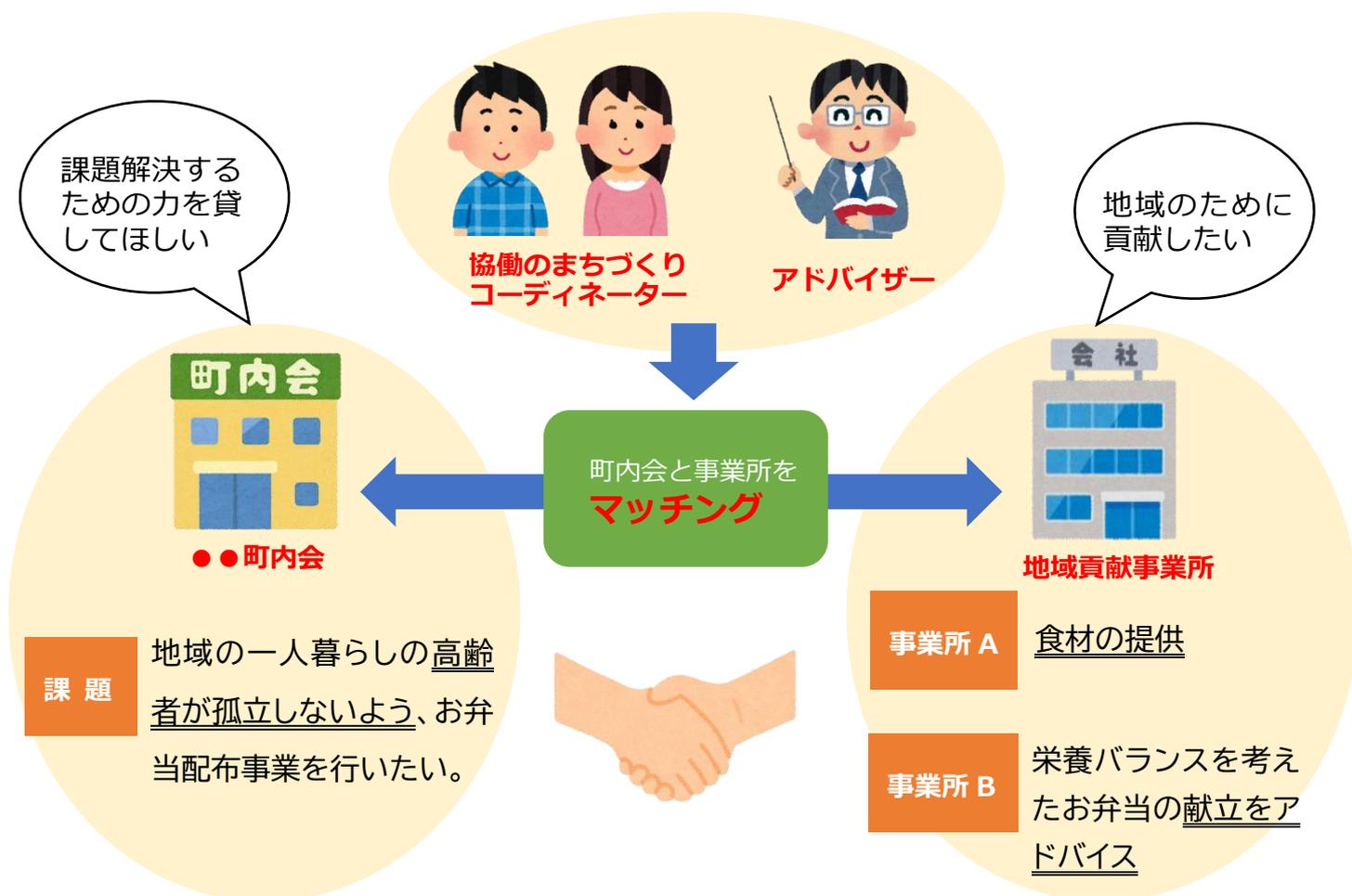
- 協働に取り組んだことがなくても、専門家から事例を交えて、分かりやすく協働の概要を学ぶことができます。
- 協働のまちづくりコーディネーターが団体の検討の場に参加し、意見を集約しながら協働につなげます。
- 課題解決にあった事業所等とのマッチングを支援します。 など

協働のまちづくりコーディネーターが協働のマッチングをお手伝いします。



協働コーディネート支援事業に参加しなくても、協働のまちづくりコーディネーターの支援を受けることができます。抱えている課題の分野に沿った協働のまちづくりコーディネーターがお手伝いします。詳しいことは、市民協働国際課までお問合せください。

マッチングの例



協働のまちづくりコーディネーターはこんな協力もしてくれます！

- 気軽にアイデアを出せるような、楽しい会議の運営をお手伝いします。
- 活動の参考になりそうな団体を紹介します。
- 協働内容や依頼する団体を選択し、お願いする際の段取りや進め方をアドバイスします。



協働のまちづくり
コーディネーター

協働に関する
ことなら私たち
にお任せください。

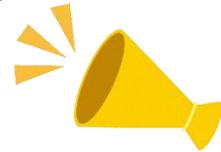
お問い合わせ

豊川市役所市民部市民協働国際課 市民協働係
Tel 0533-89-2165 Fax 0533-95-0010

Step 2

協働マッチングする事業所をさがそう

■ 市民協働のまちづくり応援事業



町内会やボランティア・市民活動団体の活動を応援する応援事業所から様々な支援を受けることができます。

応援事業所から受けられる支援は主に4種類あります！

サービスの提供

団体の活動に必要な物品の購入時に割引をしてもらうなど、サービスを受けることができます。

活動場所の提供

事業所の会議室や駐車場などを団体の活動場所として借りることができます。

技術の提供

廃材を使ったものづくりなど、事業所がもつ技術を提供してもらうことができます。

人材の派遣

団体の活動に社員がボランティアとして参加するなど、人的な支援を受けることができます。

応援事業所の支援メニューを具体的に知る方法は？



市ホームページに掲載された応援事業所の一覧をご確認ください。



アクセスはこちら

マッチングの例

事例その1 サービスの提供

校区スポーツ大会のユニフォームを購入する際に、割引サービスを受けた。



事例その2 活動場所の提供

子ども会のイベント会場として、活動場所として事業所が提供する駐車場を借りた。



事例その3 技術の提供

子どもの健全育成を目的とした団体のイベントで、技術の提供として「ものづくり」のブースを事業所に出してもらった。



事例その4 人材の派遣

市民活動団体のイベントで、人材の提供としてボランティアを派遣してもらい、準備や当日の運営を支援してもらった。



応援事業所の活用方法は？

支援を受けたい場合は、直接応援事業所へ申し出てください。市民協働のまちづくり応援事業所利用カードを事業所に提示すると、支援を受けることができます。



市民協働のまちづくり
応援事業所利用カード

Step 3

補助金を活用して協働事業を実施しよう

■ 市民協働事業応援補助金 (令和7年度事業)

市民活動団体、地縁組織、学校等、企業及び行政のいずれか又は複数と協働して行う事業の経費の一部について補助金の交付を受けることができます。

※ 補助金を受けるには、事業の公開プレゼン審査で採択を受ける必要があります。

補助率と補助上限額

補助金は3年間まで受けることができます。

事業年数	補助率	補助上限額
1年目	補助対象経費の 4/5	24万円
2年目	補助対象経費の 3/5	
3年目	補助対象経費の 2/5	

補助金の交付を受けるまでの流れ

- 報償費 (講師・専門家等への謝礼)
- 旅費 (交通費、宿泊費等)
- 需用費 (消耗品費、チラシ等の印刷製本費、燃料費等)
- 役務費 (通信運搬費、保険料等)
- 委託料 (技術等を要する業務を外部に委託した費用)
- 使用料及び賃借料 (会場使用料、機器等のレンタル・リース料等)
- 原材料費 (セメント、砂利、鋼材、木材等の資材)
- 備品購入費 (3万円以上で反復使用に耐える物品の購入費)

※食糧費や記念品の費用等、補助金対象外となるものがあるため、詳細は市へ確認してください。

補助率が高い時に
備品等高額なものを
購入するとよいですね。



スケジュール

企画書提出

補助金を活用したい事業の企画書を市へ提出します。
(企画の募集は、前年度の1～3月上旬頃行います。)

公開プレゼン審査

事業に係る企画のプレゼンを行い、補助事業として採択を受けます。(不採択の場合、補助金申請はできません。)

補助金申請

補助金交付申請を市へ提出します。

事業開始

市から補助金の交付決定通知を受領したら、事業を開始します。

事業報告

事業終了後10日以内に市へ実績報告を提出します。

補助金受領

市から補助金の確定通知を受領後、補助金請求書を提出し、補助金を受け取ります。

マッチングの例

例えば、町内会と企業が協働で高齢者へのお弁当配布事業を実施した場合の補助金額は？(1年目) ※食糧費は補助対象外

必要経費	金額 (円)
消耗品 (割りばしなど)	50,000
備品 (オープンレンジ)	100,000
食糧費	20,000

消耗品(5万円)と備品(10万円)で、**補助対象経費は計15万円**。(食料費は補助対象から除く。)
補助対象経費×補助率＝補助金額のため、
15万円×4/5＝**12万円(補助金額)**

豊川市市民協働事業応援補助金の
詳細は、市ホームページをご覧ください。



アクセスは
こちら



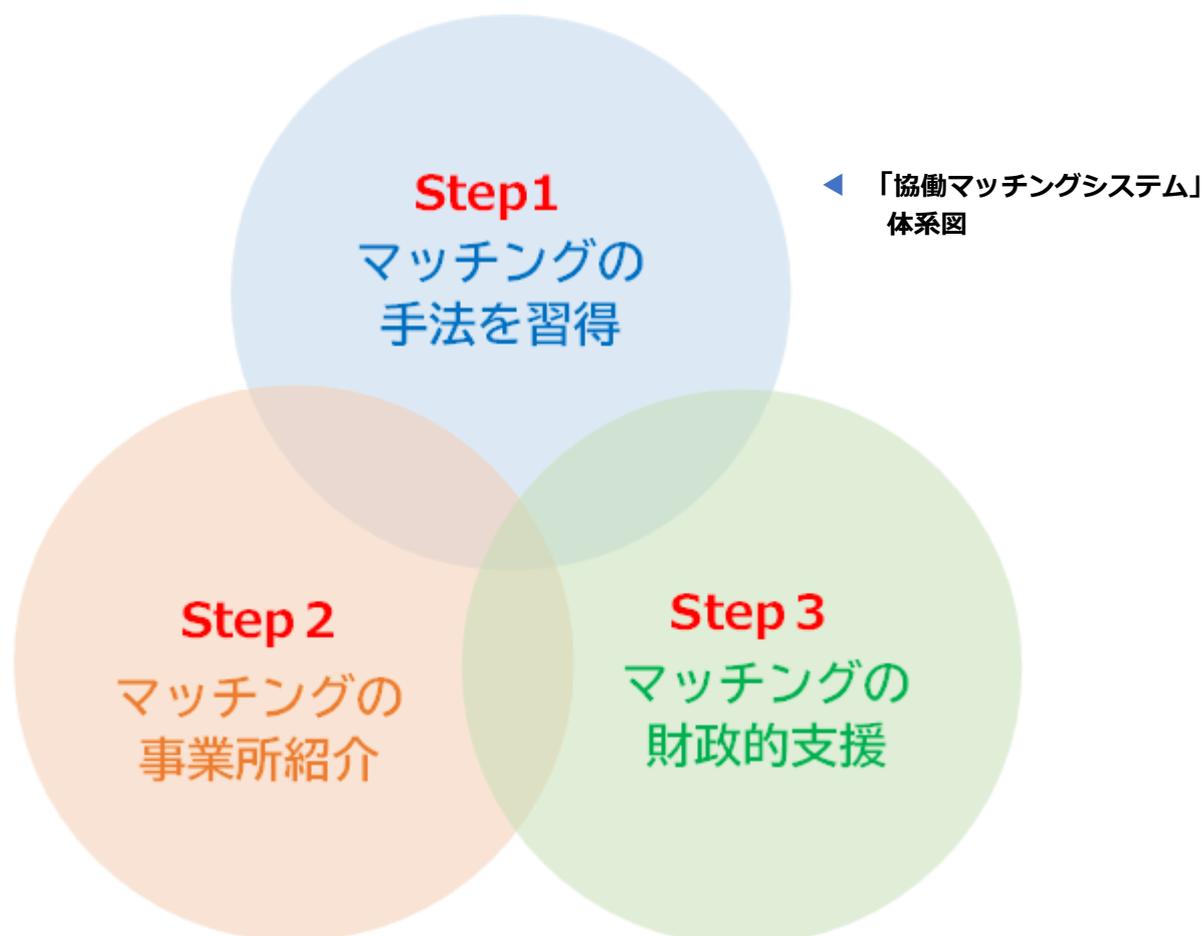
4 協働マッチングシステム活用あれこれ・・・

① 協働コーディネート支援事業（マッチング手法の習得）

② 市民協働のまちづくり応援事業（マッチング事業所紹介ツールの活用）

③ 市民協働事業応援補助金事業（マッチング事業実施の財政的支援）

3つの支援事業を「協働マッチングシステム」として構築し、協働のまちづくりを応援します。**Step1**、**Step2**、**Step3**の順に、ステップアップして「協働マッチングシステム」を活用することもできますが、これらのサポート事業を単独または同時に複数活用することで、より効果的に協働事業が実施できます。



Step1

活用例

Step 2

Step1 + Step2 の活用

子ども会イベント

子どもの健全育成を目的とした団体(市民活動団体)が主催するイベントに、子どもが楽しめるブースを設置したり、参加賞として子どもに配布する文房具を安く購入したい。



～ 協働マッチングシステムの活用 ～

～ Step1 の活用 ～

マッチングの手法を習得

協働のまちづくりコーディネーターが、子ども会のイベントに関し、事業所や市民活動団体と協働するアドバイスを行い、木材を利用したものづくりブースを設けるなど充実したイベントを開催できた。



～ Step2 の活用 ～

マッチングの事業所紹介

応援事業所を活用し、参加した子どもに配布するノートやペンなどの文房具を割引で安価に購入することができ、運営経費を削減することができた。

Step1

活用例

Step3

Step1 + Step3 の活用

避難防災訓練

町内会が、地域の防災力を高め災害に強いまちづくりを推進するため、事業所やボランティア・市民活動団体と協働し、避難防災訓練を開催したい。



～ 協働マッチングシステムの活用 ～

～ Step1 の活用 ～

マッチングの手法を習得

協働のまちづくりコーディネーターが、防災訓練の企画に入り、企業や市民活動団体と協働することや、訓練内容についてアドバイスを行い、充実した訓練を実施し、防災力を高めることができた。



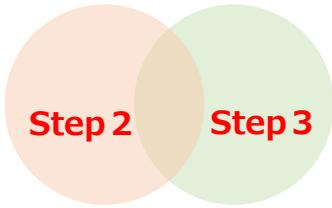
～ Step3 の活用 ～

マッチングの財政的支援

市民協働事業応援補助金を活用し、防災活動に必要な備品を購入することができ、防災訓練や有事の際に向けた備品を備えることができた。

補助額

126,000 円(2年目)
(補助対象経費 211,000 円×3
/5÷126,000 円)



活用例

Step 2 + Step 3 の活用



夏祭り（盆踊り）

地域の伝統行事を持続的に行うとともに地域の活性化を図るため、ボランティア・市民活動団体と協働し、できるだけ安価で盛り上がる夏祭り(盆踊り)を開催したい。



～ 協働マッチングシステムの活用 ～

～ Step 2 の活用 ～
マッチングの事業所紹介
応援事業所を活用し、子どもから高齢者までが喜ぶおもちゃや日用雑貨などの景品を安価に購入することができ、運営経費を削減することができた。



～ Step 3 の活用 ～
マッチングの財政的支援
市民協働事業応援補助金を活用し、やぐらの借用料や音響などの運営経費を抑えることができた。
補助額 240,000 円(1年目)
 (補助対象経費 500,000 円×4/5 > 240,000 円(上限額))

Step 1

活用例

Step 2

Step 3

Step 1 + Step 2 + Step 3 の活用

高齢者サロン

●●サロン(市民活動団体)が、健康に関する知識を提供したり、参加者が楽しめるレクリエーションを盛り込んだ会食会を開催したい。また、古くなった調理器具を買い換えたい。



～ 協働マッチングシステムの活用 ～

～ Step1 の活用 ～

マッチングの手法を習得

協働のまちづくりコーディネーターが、事業所から健康に関する専門的知識の提供を受けたり、市民活動団体から手品を披露してもらうようコーディネートし、充実した内容のサロンを開催することができた。

～ Step2 の活用 ～

マッチングの事業所紹介

応援事業所を活用し、骨粗しょう症予防の献立や介護予防の運動方法について知識を提供する企業を選定することができた。

～ Step3 の活用 ～

マッチングの財政的支援

市民協働事業応援補助金を活用

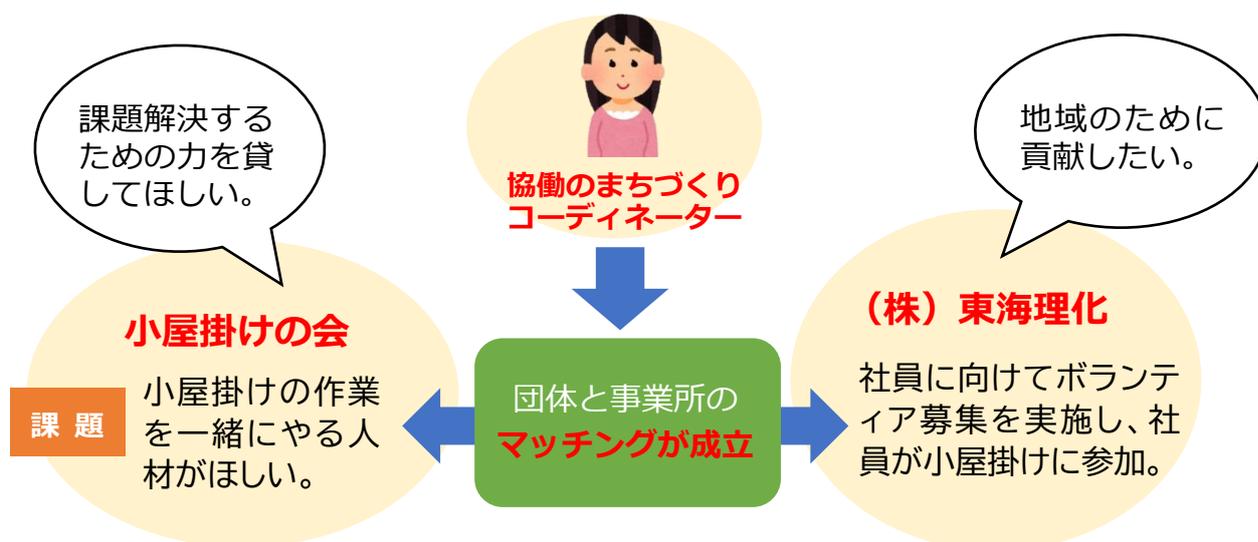
して、調理器具を購入できた。

補助額 80,000 円(1年目)
(補助対象経費(食費は対象外)
100,000 円×4/5=80,000 円)

5 協働マッチングシステムの試行事例

赤坂の舞台 伝統芸能公演 小屋掛けボランティア

「小屋掛けの会」(市民活動団体)は、毎年、伝統的な技術を用いて「赤坂の舞台」の観客席の小屋掛け作業を実施してきましたが、近年、会員の高齢化等により担い手が不足し、活動の継続が困難になっていました。こうした中、協働のまちづくりコーディネーターが「小屋掛けの会」の会員と一緒に、地元企業の株式会社東海理化を訪れ、「小屋掛けの会」の現況や伝統継承への熱い思いを伝えたことで、社員がボランティアとして参加していただき、担い手不足の解消を図ることができました。



小屋掛けの会とは

伝統的な技術で竹と丸太を使ったドーム状の屋根をもった特設の観客席(小屋掛け)を作る団体です。

作業内容

- ・柱立て ・竹切り出し
- ・屋根竹組み
- ・屋根シート張り
- ・棧敷作り ・屋根撤去
- ・小屋掛け解体 他



令和7年3月発行

豊川市役所

市民部 市民協働国際課

☎0533-89-2165 📠0533-95-0010

✉kyodokokusai@city.toyokawa.lg.jp